

鹿雪瑩 著

古井喜実と中国

— 日中国交正常化への道 —

A5判・300頁／定価3,990円(税5%込) ISBN978-4-7842-1590-4

2011年10月刊行

1972年9月29日、訪中した田中角栄と周恩来両首相の「日中共同声明」により、日中国交正常化が実現した。1949年に中華人民共和国が成立して23年、その道のりは決して平坦なものではなかった。本書は、国交正常化に大きな役割を果たしながら、これまで十分な研究がなされてこなかった古井喜実(1903-95)に注目し、未公開資料をふくむ「古井喜実文書」ほか日中の資料を駆使しながら、古井を中心とした自民党内親中派による国交正常化への軌跡、交渉の裏側を総体的に検証。国交回復から40年、時流に流されず、みずからの信念を貫いた気骨の政治家の姿を追う。

内容目次

序	松尾尊允	／ LT 貿易協定継続交渉／ MT 貿易協定の成立と各界の反応
序章 問題の所在と構成		第7章 薄氷の日中覚書貿易交渉
第1部 自民党内親中派の結集とLT貿易協定の成立		—— 1969年の日中MT貿易交渉
——古井喜実を中心に		自省なき対中政策と実りなき努力／難航した政治会談／
第1章 官界から政界へ		コミュニケの調印と日本各界の反応
内務官僚としての古井喜実／改進黨から自由民主党へ		第8章 厳冬の時代
第2章 「自主外交」と対中政策		—— 1970年の日中MT貿易交渉
鳩山・石橋・岸内閣の「自主外交」と対中政策／中国問題		中国問題をめぐる日本政府の態度と親中派／難問かかえる
をめぐる自民党内の対立と古井喜実		政治会談／交渉の妥結／会談コミュニケに対する各界
第3章 1959年の中国訪問		の反応
日中交流断絶後の保守政界と古井喜実／古井喜実の最初の訪中		補論 冬の後に春が来る
第4章 自民党内親中派の結集と古井喜実		——古井喜実と1971年のMT貿易交渉
訪中後の保守政界の変化／訪中帰国後の古井喜実		第3部 古井喜実と日中国交正常化
第5章 LT貿易協定の成立と古井喜実		—— LT・MT貿易の延長線から見る日中国交正常化
池田内閣の対中政策と親中派／松村謙三の第二次訪中と貿易再開交渉／高碓達之助の第二次訪中とLT貿易協定の成立		第9章 高まる日中国交正常化の気運と自民党内親中派
第2部 古井喜実と日中LT・MT貿易交渉		ニクソン・ショックと日本各界の反応／日中国交回復派
第6章 1968年の日中LT貿易交渉		の拡大と自民党内親中派の動き／日中国交正常化に関する
——LT貿易からMT貿易へ		古井喜実の方針と戦略
揺らぎ始めるLT貿易／期限切れの迫るLT貿易		第10章 日中国交正常化と古井喜実
		日中国交正常化の地ならし／最後の調整と古井喜実
		終章 研究の成果と位置付け
		あとがき／参考資料・文献／索引

ろく せつえい(Lu Xueying)… 1975年、中国山東省生まれ。中国天津外国語学院日本語学部卒業。京都大学大学院文学研究科博士課程修了。博士(文学)。京都大学文学研究科非常勤講師を経て、現在、日本学術振興会外国人特別研究員。専門は戦後日中関係史、日本政治外交史。おもな論文に「古井喜実と1968年の日中LT貿易交渉」(『史林』91-5,2008年)。

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel075-751-1781 fax075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行: 思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	古井喜実と中国	本体3,800円(税別)	ISBN978-4-7842-1590-4	
お名前			tel		
			e-mail		
ご住所	〒				
送本方法	<input type="checkbox"/> 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) <input type="checkbox"/> 代引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)				
					書店番線印

象徴天皇制の形成と定着

富永望著

「象徴天皇（制）」という言葉に着目して、この用語の使用法を検証し、さらに吉田茂の憲法運用と、それに異を唱える政治勢力や憲法学者の天皇観を明らかにすることで、象徴天皇制は新憲法の運用の積み重ねによって形成されたことを実証する、気鋭の書。
▶A5判・316頁／定価5,040円 ISBN978-4-7842-1492-1

日中戦争についての歴史的考察

明石岩雄著

日中戦争の全面化は、太平洋戦争への決定的転換点であった。またその結果は、日本の対中国政策の破綻でもあり、中国市場の全面的開放と開発という、国際資本の試みの挫折といえる。本書は、日中戦争の原因について歴史学から考察する。
▶A5判・352頁／定価5,775円 ISBN978-4-7842-1347-4

※日中戦争から世界戦争へ

永井和著

華北に利権を求める日本。イギリス・アメリカ・ソ連を相手にしてどのような対応をしたのか。日本が世界戦争への道を歩んでゆく姿を明らかにする一書。【内容】東アジア20世紀史の中の日本／日本陸軍の華北占領地統治計画について／日中戦争と日英対立／1939年の排英運動／日中戦争と帝国議会／日中戦争と陸軍慰安所の創設
▶A5判・516頁／定価7,980円 ISBN978-4-7842-1334-4

貴族院と立憲政治

内藤一成著

明治から大正前期にかけての貴族院を主導し「官僚系」「山県系」などといわれた院内会派、幸倶楽部、及び子爵議員を中心とした最大会派、研究会の動向を中心に分析し、政党研究にくらべて著しく立ち遅れている貴族院に研究のひかりをあてた一書。また同時期の内閣・政党の動向を重ね合わせ、近代日本における立憲政治の実態、構造を探求。
▶A5判・438頁／定価7,980円 ISBN4-7842-1278-7

立憲国家中国への始動 明治憲政と近代中国

曾田三郎著

従来の単線・単純な辛亥革命史研究の枠組みを打開すべく、立憲国家中国の形成という観点から叙述する中国近代史。内閣制を中心とする行政制度の改革や、省制・省政の改革を軸に、大隈重信などの政治指導者や、有賀長雄のような伊藤系の法学者などの影響を具体的に把握することで、明治憲政の影響を動態としてとらえる。
▶A5判・400頁／定価8,400円 ISBN978-4-7842-1464-8

政教社の研究

中野目徹著

「国粹主義」を主唱して明治の思想界をリードした政教社の存在形態を三宅雪嶺・志賀重昂・内藤湖南らの人物像と組織及び機関誌の全貌を検証し、政教社がこころみ実践運動と思想の展開をあつづける。
▶A5判・340頁／定価7,350円 ISBN4-7842-0771-6

近代京都研究

丸山宏・伊從勉・高木博志編

歴史都市・京都は近代に大きく変わったまちであった——。京都という都市をどのように相対化できるのか、普遍性と特殊性を射程に入れながら、近代史を中心に分野を超えた研究者たちが多数参加し切磋琢磨した京都大学人文科学研究所・共同研究「近代京都研究」の成果。
▶A5判・628頁／定価9,450円 ISBN978-4-7842-1413-6

朝鮮近現代史を歩く 京都からソウルへ

太田修著

朝鮮半島とそれに繋がる人々における植民地支配と戦争の歴史がどの様なものか、現代の人々によってどの様に記憶されているのか、民衆がどの様に生き何を思ったのか。その歴史と縁のある場所を訪れ風景やモノを見、人に会い、史資料を読み、考えた中から生まれた成果。
▶46判・270頁／定価1,995円 ISBN978-4-7842-1450-1

佛敎大学臨文化叢書20

※日本の朝鮮・台湾支配と植民地官僚

松田利彦・やまだあつし編

敗戦によって植民地から切り離された日本ではかつて官僚支配の構造が海を越えて植民地にまで及んだことは注目されてこなかった。近代日本の朝鮮・台湾支配を現地で担った「植民地官僚」に着目して日本の朝鮮・台湾支配を考察。国際日本文化研究センターで共同研究。
▶A5判・756頁／定価13,650円 ISBN978-4-7842-1451-8

近代日本の軍部と政治

永井和著

日本近代政治史の気鋭が「戦前の内閣」をとりあげ「軍人の内閣」というフィルターを通して内閣史に新たな光をあてる。【内容】軍人と内閣 視角と定義／軍人首相内閣論／軍人閣僚と戦前内閣／現役将校の官界進出／政軍関係理論に関する一考察 内閣官制と帷幄上奏 初期内閣と帷幄上奏勅令／内閣官制の制定と帷幄上奏
▶A5判・450頁／定価9,030円 ISBN4-7842-0770-8

森有礼における国民的主体の創出

長谷川精一著

初代文部大臣としても知られる森有礼は、大日本帝国憲法発布式典の当日に刺客の凶刃に倒れた。本書は彼の言説や行ってきた政策の目的が、日本国民の主体の創出にあったという視点から、これまで先行研究の大半が十分に検討してこなかった外国語の史料や文献をも利用し、さまざまな角度から検討を加えた画期的な一書。
▶A5判・466頁／定価9,450円 ISBN978-4-7842-1367-2

条約改正交渉史 1887～1894

大石一男著

1888年(明治21)黒田清隆内閣の大隈重信外相による条約改正交渉から1894年伊藤博文内閣の陸奥宗光外相による日英通商航海条約締結までの時期について、以下の三つの視角—日本側の交渉戦略・交渉戦術、交渉相手の欧米列国の動向、日本国内における諸個人・諸集団の協力・対抗・競合の側面—から分析する。
▶A5判・356頁／定価6,825円 ISBN978-4-7842-1419-8

歴史とアイデンティティ

山口定・R.ルプレヒト編

日本とドイツにとっての1945年

【内容】第1章 転換の年1945年 占領と官僚制(天川晃) 連続と非連続(J.コッカ) 第2章 第二次世界大戦下の日本とドイツ 第三帝国における青少年教育(N.フライ) 第3章 日本とドイツにおける全体主義の精神的・イデオロギー的諸前提 天皇崇拜(山折哲雄) 第4章 新たな転換点に立つ日本とドイツ 日本外交とドイツ外交(高橋進) など
▶A5判・500頁／定価9,030円 ISBN4-7842-0795-3

近代日本公園史の研究

丸山宏著

近代欧米都市起源の公園が、いかに近代化の装置として導入され、衛生問題、都市問題、記念事業、経済振興策、政治的役割などさまざまな問題を孕みながら受容されてきたか、その歩みを社会史のダイナミズムのなかにとらえた一書。
▶A5判・400頁／定価8,820円 ISBN4-7842-0865-8

みやこの近代

丸山宏・伊從勉・高木博志編

研究分野の相違を問わず、また時流の政治や論調に動ずることなく「近代の歴史都市としての京都」についての基本的な諸問題を多角的に論じようと開かれた京都大学人文科学研究所「近代京都研究会」。そこで論じられたさまざまな分野の具体的な主題をもとに近代現代の京都の根本問題を見通す視座を形成しようとする試みの85篇。
▶A5判・268頁／定価2,730円 ISBN978-4-7842-1378-8

昭和初期 一移民の手紙による生活史

中野卓・中野進共編

ブラジルのヨッチャン

昭和3年にブラジルへ移民として出国した中野義夫が日本へ送った書簡を中心に編纂。異国での苦難の日々、母国への想い、経済的無心、家族や兄弟姉妹のことなど海を越えて届けられた手紙に移民の生きた声が反映され、昭和という時代の一面を捉えた貴重な資料。
▶A5判・294頁／定価2,940円 ISBN4-7842-1301-5

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。